

# Fons Sapientiae

仙台白百合女子大学図書館報 「フォンス サピエンティエ」



No. 14  
2014.4.1

## Contents

- ・図書館だより
- ・新着図書の紹介
- ・新着資料の紹介
- ・推薦図書
- ・図書館からの報告とお知らせ
- ・編集後記

## 図書館だより

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。高校までの図書室とは少し変わって、みなさんの学習・研究をお手伝いするのが大学図書館です。いろいろと便利な使い方ができる図書館の例を紹介いたします。

### 図書館に入る

入口は図書館1階と2階に2ヶ所あります。1階ゲートは学生証が必要です。3号館側から入る2階入口はボタンを押すだけで自動ロックを解除することができます。ただし、出ることはできません。



### 本を借りる

自動図書貸出装置(ABC)を利用します。そこで自分で手続きをします。図書1冊1冊についているバーコードを読み取って処理します。



### 資料を探す

ホームページから資料の検索ができます。各階にパソコンを設置しておりますのでご利用ください。保管場所と配架場所さえ確認できればお探しの図書にたどりつくことができます。



### 新聞を読む

河北・朝日・日経・産経・読売・福祉・Japan Times の7誌があり、当日の新聞は2階に置いてあります。河北、朝日についてはデータベースを用意しています。



### 辞書を調べる

2階には参考図書コーナーがあります。辞書や白書、各種統計等が配置されています。

### 図書館から出る

出口は1階にあります。1階の入館ゲートは自動で開きますが、帰りは手動のゲートです。自動で開くのを待っている学生さんがいますが、ゲートを押して退館してください。

<注意>貸出処理していない図書はありませんか？未処理の図書を感知してブックディテクション・システムが作動することがありますので気を付けてください。



### 本を返す

カウンターまで返却してください。  
開館時間外には館外にポストがありますので、そちらをご利用ください。  
<注意>返却しないでそのまま棚に戻してしまうと、ずっと貸出中のままになります。

### 雑誌を読む

和洋合せて約400タイトルの雑誌を受け入れております。レポートや卒業論文執筆の際にはとても役立ちます。「S-style」や「ダ・ヴィンチ」、「音楽と人」など読み物的な雑誌も1階にあります。



### 視聴覚資料を見る

3階奥には視聴覚ブースが8台あります。空き時間等にDVDやビデオを見て、教養を深めたり英語のリスニングなど語学の勉強のために利用することができます。



### 図書館の開館日時を調べる

来てみたら閉館だった！では悲しすぎます。ホームページに開閉時間が掲載されておりますので、確認してからご来館ください。

平日は9時～19時の開館です。お待ちしております♪

## 新着図書の紹介

登録番号	書名	著者名	発行所	発行年
A45247	教育と文化（今を生きる：東日本大震災から明日へ！復興と再生への提言：2）	水原克敏 著	東北大出版会	2012年 9月
A45245	学校改革の哲学	佐藤学 著	東京大学出版会	2012年 3月
A45283	言語と教育をめぐる思想史	森田伸子 編著	勁草書房	2013年 1月
A45246	心理学と教育実践の間で	佐伯伸【ほか】著	東京大学出版会	2013年 9月
A45248	学習の本質	OECD教育研究革新センター 編著	明石書店	2013年 3月
A45269	近代日本の人間形成と学校	木村元 編著	クレス出版	2013年 3月
A45270	東日本大震災と学校	天笠茂【ほか】編著	学事出版	2013年 3月
A45039	Streamlined ID	by Miriam B. Larson and Barbara B. Locke	Routledge	2014年
A45288	学習言語とは何か	バトラー・後藤裕子 著	三省堂	2011年 6月
A45029	学生の理解を重視する大学授業	ノエル・エントワイル 著	玉川大学出版部	2010年11月
A45383	APA心理学大辞典	G.R. ファンデンボス 監修	培風館	2013年 9月
A45411	教育・発達心理学（心理学研究の新世紀：3）	湯澤正通 著	ミネルヴァ書房	2012年 3月
A45386	嘘の心理学（クロスロード・パーソナリティ・シリーズ：4）	村井潤一郎 編著	ナカニシヤ出版	2013年10月
A45341	事例研究というパラダイム	斎藤清二 著	岩崎学術出版社	2013年 8月
A45353	「グロリアと三人のセラピスト」とともに生きて	バメラ・J・パリー 著	コスマスライブラリー：星雲社(発売)	2013年 9月
A45072	家族面接・家族療法のエッセンシャルスキル	ジョー・エレン・バタソーン【ほか】著	星和書店	2013年 6月
A45340	「甘え」とアタッチメント	小林隆児 著	遠見書房	2012年11月
A45100	権利擁護と成年後見実践	日本社会福祉士会 編	民事法研究会	2013年 5月
A45456	なぜ障がい者を雇う中小企業は業績を上げ続けるのか？	影山摩子弥 著	中央法規出版	2013年11月
A45064	応用人間論としてのバース	庄田秀志 著	星和書店	2013年 3月
A45545	食の民俗事典	野本寛一 編	柊風舎	2011年 7月
A45502	食物アレルギーの栄養指導	今井季成 著	医歯薬出版	2012年 2月
A45500	子供が喜ぶ食物アレルギーレシピ100	海老澤元宏 監修	成美堂出版	2013年10月
A45618	図解食品衛生学実験	一戸正勝 著	講談社	2012年 9月
A45108	生食のおいしさとリスク	一色賢司 監修	エヌ・ティー・エス	2013年 6月
A45600	ビタミンの新栄養学	柴田克己 著	講談社	2012年 7月
A45614	はじめての臨床栄養英語	清水雅子 著	講談社	2013年 3月
A45486	香料の科学	長谷川香料株式会社 著	講談社	2013年 4月
A45628	食品微生物学の基礎	鶴井建夫 編著	講談社	2013年 9月
A45494	運動と栄養	上田伸男 著	講談社	2013年12月
A45242	日本の200年 上・下	アンドレー・ゴードン【著】	みすず書房	2013年 4月
A45330	Norman and Plantagenet (English homes & gardens : v. 1.)	[by H. Avray Tipping]	Edition Synapse	2013年
A45259	中世の音楽世界	ベルンハリト・モールバッハ 著	法政大学出版局	2012年 6月
A45329	危機言語（地球研ライブラリー：24）	ニコラス・エヴァンズ【著】	京都大学学術出版会	2013年 2月
A45255	研究社日本語口語表現辞典	佐藤友子 著	研究社	2013年11月
A45324	山の音（川端康成作品論集成：第8巻）	田村充正 編	おうふう	2013年11月
A45325	T.S.エリオットの作品と本質	田口哲也 著	音羽書房鶴見書店	2013年 2月
A45254	フランス中世文学名作選	松原秀一 著	白水社	2013年 9月
A45258	世界の文字大事典	Peter T. Daniels 著	朝倉書店	2013年 6月
A44936	ワーグナー	バリー・ミリントン 著	悠書館	2013年 7月
A45479	高校図書館	成田康子【著】	みすず書房	2013年11月
A45374	極上の流転	村松友視 著	中央公論新社	2013年 8月
A45220	祈りの幕が下りる時	東野圭吾 著	講談社	2013年 9月
A45145	たぶんねこ【しゃばけシリーズ】	畠中恵 著	新潮社	2013年 7月
A45033	爪と目	藤野可織 著	新潮社	2013年 7月
A45418	教場	長岡弘樹 著	小学館	2013年 6月
A45024	名も無き世界のエンドロール	行成薰 著	集英社	2013年 3月
A45027	ホテルローヤル	桜木紫乃 著	集英社	2013年 1月
A44930	家族写真	荻原浩 著	講談社	2013年 5月
A44929	わたしをみつけて	中脇初枝 著	ポプラ社	2013年 7月

## 新着資料の紹介

### ウォルト・ディズニー作品集

本学図書館にまだ入っていないディズニーのアニメ作品を集めた、写真の「Early Classics Collection」をはじめ、おなじみのミッキーマウスやドナルドダック、くまのプーさんなどのアニメ作品や最近の作品「メリダとおそろしの森」など、たくさんの作品が入っています。まだ「美女と野獣」「101匹わんちゃん」など入手困難なものもありますが、今後揃えていく予定です。



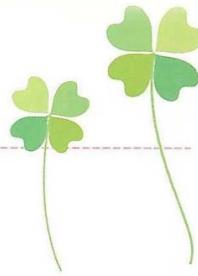
本学にあるディズニーの作品を1冊にまとめたファイルも作りましたので、そちらで探しで楽しんでいただければと思います。

### シェイクスピア全集

2013年、丸善が最新のデジタル・リマスタークリーニングによるクオリティの高い映像と音質でDVD化した「シェイクスピア全集」全37巻がAV資料に入っています。これは1978年に英国BBC放送がウィリアム・シェイクスピアの全戯曲を映像化したもので、演劇界・TV界から最高の演出陣が集められ、当代表の名優たちによる迫真的演技を収録した作品群です。

シェイクスピアの戯曲をよりわかりやすく理解できるとともに、英語のリスニングにうってつけの作品集となっています。





## 『手塚治虫文庫全集』 手塚治虫 著 講談社

人間発達学科 准教授  
沼澤 清一

映画の名前でも見た「アドルフに次ぐ」を手に取った。圧倒的な構成力、編集力。どこまでが史実に基づくものは分からぬいが、それらを駆使しながら伝えようとする手塚氏の意図。それは、物売りとしての域を越えている。

「手塚治虫」という偉大な漫画家は、一つひとつの作品を描きまとめながらも、自分の作品の全体像があつたはずだ。

個の集成が結果としての全体像となるのではなく、全体像の中に個が位置づけられていると感じられる作品群。

全集を前にして強く感じられる作者像。

手塚氏は、漫画を通して、読者である私達に、何を伝えようとしているのであろうか。

感想は、その媒体を通して、自分のそれまでの生き方の再確認から生まれる。

「ブッダ」そして「火の鳥」……

それらに共通した作者の思いは何か。もし、それに気づくことができるしたら、その時、そこに共感することのできる自分の生き方とは何だったのか。

全集を前にすると、個々の作品の感想では終わらない作者の意図の存在に気づかされる。

## 『赤ちゃん学を知っていますか?』 産経新聞「新・赤ちゃん学」取材班 新潮社

心理福祉学科 准教授  
森本 幸子

皆さんにとって、「赤ちゃん」のイメージはどのようなものでしょうか。もしかすると、「何もできず何も分からぬ未熟な存在」というイメージをお持ちではないでしょうか。この本は、そんな皆さんのが赤ちゃんのイメージを一新してくれるはずです。

例えば、日本人は英語の「r」と「l」の聞き分けに苦労することが多いですが、両親が日本人でも、生後半年の赤ちゃんは、両音声を聞き分けることが可能です。しかし、生後十ヵ月頃になると音声を聞き分けることができなくなってしまうということです。これは、母国語

に無い音は聞き分ける必要がないので、赤ちゃんがその能力を使わなくなることが原因と考えられているそうです。

従来、未熟な存在と考えられていた赤ちゃんは、実は、周囲から情報を受け取り、自分が育つ環境に必要な能力のみを取捨選択して発達させているのです。

赤ちゃんに接する機会がある人にもない人にもお薦めの一冊です。人間の発達の奥深さに感動すると思いますよ。

## 『栄養学を拓いた巨人たち「病原菌なき難病」征服のドラマ』 杉 晴夫 著 講談社

健康栄養学科 講師  
氏家 幸子

森鷗外は、文豪として知られていますが、陸軍の軍医総監まで務めた医者でもありました。しかし、人々を悩ませていた脚気の原因については、伝染病という説を曲げず、日清戦争では陸軍での死傷者が1,720人なのに対してなんと脚気による死者が4,064人という痛ましい事態を引き起こしているのです。同じ頃、海軍では高木兼寛が脚気は食事に原因があることを突き止めて麦飯等の食事の改善を行って脚気を一掃しているとの対照的です。なぜ、こんなことが起きてしまったのか?

背景に興味をもたれた方はぜひこの本を手に取ってみてください。

「栄養学が現在のように確立されるまでには、先人たちの命がけの苦闘があった。」という言葉がドラマ好きな私の心を揺さぶったように、今では栄養学の基礎として登場する栄養素や体のメカニズムそれぞれに発見のドラマがありました。そんなドラマを知って栄養素と向き合うと、一つひとつがとてもいとおしく思えてきます。

## 『ブラック企業』 今野 晴貴 著 文春新書 文藝春秋社

グローバル・スタディーズ学科  
准教授  
高橋 早苗

「ブラック企業」と聞いて、「ああ、知ってる」と思う人も多いのではないでしょうか。2013年の流行語にも選ばれたこの言葉は、本書の公刊がきっかけとなつて広く知られるようになりました。近ごろでは、著者本人がテレビに出演して、近年ますます問題化している若者の雇用環境について解説する姿を、目にすることもあります。

「ブラック企業」という一部のマイナーな企業を想像しがちですが、本書で取り上げられるのは日本を代表する一流企業で、大学生が憧れる企業も含まれています。

学生にとって就職は「ゴール」のように捉えられるがち

ですが、実は「スタート」にすぎず、学校生活で培ったものが通用しない、過酷な状況に追い込まれる事例が多数掲載されています。

本書を推薦する理由はもう一つあります。著者は自ら主宰するNPOの労働相談活動を通じて本書を執筆し、しかも、その活動を大学在学中に開始したのだそうです。

学生であっても、広く社会の各領域と接点をもちながら、自分たちの将来を見据えた生き方を選んでいく。そういう意味で、学生の皆さんに夢と勇気を与えるのではないかと思うのです。



# 図書館からの報告とお知らせ

## 報告

### (1) イラスト展示会

2013年10月26日から12月20日の約2ヶ月間、本学卒業生でイラストレーターの服部かすみさんによるイラスト展示会を開催いたしました。また、10月27日の大学祭では、服部さんをお招きして、ライブペイントを行いました。館外でのライブペイントはあいにくの雨模様でしたが、たくさんの方々にお集まりいただきました。軽快なアーリッシュ・ミュージックに合わせて描いていく様子を実際に見ることができて、みなさん楽しんでいただけたようです。服部さんの愛らしい動物たちの絵に癒される方も多く、実りある展示会となりました。



服部かすみさんによるライブペイント

### (2) 図書検索ミステリーツアー

2013年10月26日、大学祭において図書館の魅力を知っていただこうと、クイズ形式のミステリーツアーを行いました。小学生から大人まで多くの方にご参加いただきました。全問正解者にはオリジナル・ブックカバーをプレゼントいたしました。クイズにはみなさん真剣に取り組んでいたようです。初の試みにもかかわらず、ぜひ来年も実施してほしいというご意見もあり、更に楽しく参加できるようなツアーを企画していく予定です。



ミステリーツアー参加者と  
学生ボランティア

### (3) データベース講習会

図書館では年に2回、契約中のデータベースに関する講習会を開催しております。2013年度は7月と12月にそれぞれ医中誌WebおよびJapan Knowledgeについて、外部から講師を招いて講習会を行いました。参加者からも「大変便利」「知つて良かった」などの感想をいただきました。



5号館2階コンピュータ演習室にて

### (4) 話題の図書コーナー

今年度より、話題になった図書や新刊本、あるいはメディアで取り上げられた評判の図書などを展示するコーナーを新設しました。芥川賞、直木賞、本屋大賞などの受賞作品や映画化された作品等を展示しております。注目の本がありましたら、ぜひ手に取ってみてください。



図書館1階右手奥のコーナー

## お知らせ

### (1) 図書館検索ツアー

図書館スタッフが実際に館内をご案内いたします。2人でも3人でもグループ単位で受け付けておりますので、気軽にお申し込みください。図書館で日程を調整してご連絡いたします。

### ◆ 編集後記 ◆

図書館では、新聞系・知識系・医学系といった様々なデータベースを導入しております。

データベースとは、広義ではいろいろな解釈もありますが、一般的にはコンピュータで相互に関連するデータを整理・統合して、検索(活用)しやすくした仕組みといったところです。本学では、学内のネットワークに繋がっているパソコンなら、図書館ホームページから各種データベースを使うことができます。レポート作成等に是非ご活用ください。

### (2) みなさまからのご意見、お待ちしております

図書館1階ステンドグラス前に、赤いポストを設置しました。みなさまからのご要望やご意見を広く募集しております。気が付いたこと、こんな図書があったらいいな、こうしたらいいのではないか、などなど楽しいことを考えついたら、ぜひ図書館ポストまで!



最近、図書館にマスコット・キャラクターを取り入れている大学を多く見かけます。

本学の図書館でもリスをマスコット・キャラクターに採用することにいたしました。これは、本学卒業生が描いたリスのイラストからヒントを得たものです。名前は、仮称「Lis(百合の意)」ちゃん。これから図書館とともにこのマスコット・キャラクターもよろしくお願ひいたします。

(図書館:生出・芳野)

図書館報バックナンバー <http://ssl.library.sendai-shirayuri.ac.jp/>